

平成27年2月9日

各位

上場会社名 株式会社 パスポート  
 代表者名 代表取締役社長 水野 純  
 (コード番号 7577)  
 問合せ先責任者 常務取締役総合企画部長 久保田 勝美  
 TEL (03) 3494-4497

### 業績予想の修正及び特別損失の計上 並びに繰延税金資産の取り崩しに関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年9月1日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、平成27年2月期第4四半期累計期間において、下記のとおり特別損失の計上および繰延税金資産の取り崩しを行う見通しとなったため、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正について

(1)平成27年2月期通期個別業績予想の修正(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	11,600 <sup>百万円</sup>	△10 <sup>百万円</sup>	△60 <sup>百万円</sup>	△130 <sup>百万円</sup>	△25.74 <sup>円</sup>
今回修正(B)	11,300 <sup>百万円</sup>	△330 <sup>百万円</sup>	△390 <sup>百万円</sup>	△780 <sup>百万円</sup>	△154.44 <sup>円</sup>
増減額(B-A)	△300 <sup>百万円</sup>	△320 <sup>百万円</sup>	△330 <sup>百万円</sup>	△650 <sup>百万円</sup>	—
増減率	△2.6%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成26年2月期)	12,766 <sup>百万円</sup>	△129 <sup>百万円</sup>	△191 <sup>百万円</sup>	△281 <sup>百万円</sup>	△55.81 <sup>円</sup>

#### (2)修正の理由

年間最大売上の12月商戦では、直営既存店売上高前年比は99.1%と回復傾向が出てまいりましたが、予算に対しては約4%届かず、第3四半期のマイナスを取り返すまでには至りませんでした。1月の売上高も年初は福袋等で活況でしたが、その後の売上が低調に推移した結果、通期の売上高は前回予想を下回る見込みとなりました。当期から取り組んでおります「MDリフォーム」につきましては、インテリアの部門は既に前年を上回り一定の成果が出てきているものの、全体の品揃えに波及して拡大していくのは、来期以降になる見込みです。また、売上不振による滞留在庫商品の値下げ処分が増加し、直輸入品を中心に円安による仕入原価率の上昇もあって、売上原価率が予想以上に悪化してしまいました。その結果、営業利益につきましても前回予想を下回る見込みであります。また、2期連続赤字となった店舗等で下記2.の特別損失を計上し、更に繰延税金資産の取り崩しにより当期純利益につきましても計画を大きく下回る見込みであります。

なお、平成26年9月1日に公表いたしました期末配当予想に変更はございません。来期は「MDリフォーム」の完成を目指して、今期の成果が出ている部門の成功事例をベースに、他の全ての部門の商品と品揃えの改修に全力で取り組んでまいります。

## 2. 特別損失の計上及び繰延税金資産の取り崩しについて

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、閉店を決議した店舗及び収益性の低下により固定資産の減損対象となった店舗について減損処理を行い、減損損失として 100 百万円の特別損失を計上する見通しであります。更に、近年の急速な業績の悪化と厳しい経営環境等を勘案し、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、一部について取り崩しを実施し、法人税等調整額を 280 百万円計上する見通しであります。

なお、業績予想につきましては、当社が本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、当社を取り巻くさまざまな要因により、記述されている業績見通しとは大きく異なる結果となることがありますことを、ご了承願います。

以上